



後期学校アンケートで新たに Forms を活用し自由記述欄を設定しましたところ、学校の取組について、様々な面から大変多くのご意見をいただきました。ありがとうございました。

ご家庭との連携は、子どもたちを育てていく上でもっとも重要なことと考えています。子どもたちの学校生活、健康、安心・安全に関わることなど、今後もあらゆる面について連絡を密にしながら対応してまいりたいと思います。

以下に、ご意見をいただいた内容について、学校の見解を回答させていただきます。全部をここで取り上げることはできませんが、ご了承ください。ご不明な点などは遠慮なく学校までご連絡ください。

また、ここには掲載しませんが、大変多くの労いや感謝のお言葉をいただきましたこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

授業参観について

- ・授業参観の開催が困難な状況だと思うので、ホームページへの学校や学習の様子を掲載する頻度や量を増やして欲しい。
- ・リモートでの参観などがあればいいと思う。
- ・パソコンを持ち帰る機会があるので、動画を入れて見られる等、何か学校生活を見られる機会が欲しい。

今年度は、授業参観など、子どもたちの学校での様子を見ていただく機会の多くが中止となり、申し訳なく思っています。授業参観が難しい場合、オンラインでの参観を希望されるお声が多くあります。技術面に関しては、少しずつ可能になってきている一方で、(子どもの)肖像権の問題、著作権の問題等で、すぐには実施できない状況でした。来年度に向けて、オンラインでの学校の様子公開については、指針が少しずつ変更されていく見込みです。学校としてできることを来年度も探っていきたいと考えております。

オンライン学習・タブレット PC 活用（GIGA スクール構想）

- ・コロナで学級閉鎖になり授業の遅れなど不安だったが、Zoom での授業があり、家にいてもダラダラ過ごすことなく、また休みでも学校や友達とつながることで子どもも親も安心することができて良かった。
- ・学校授業、学校休み時間、土日とパソコンを使用する機会が増えているので、時間を区切って使用するよう家庭でも気をつけていきたい。学校でも配慮してほしい。
- ・学校から借りているタブレットの利用法についてもう少し厳しく制限をかけるなどの対応をとってほしい。

後期も京都市で出されている GIGA スクール構想実現に向けたロードマップに沿って、タブレット PC を活用した授業を進めてきました。また、3 学期に入り学級閉鎖が相次いだため、オンライン学習の取組について検討し、タブレットの持ち帰りや家庭でのオンライン学習を進めてまいりました。少しでも学習の遅れがないように、また、生活のリズムを家庭でも作れるように、朝の会、授業、オンラインでの家庭学習の指示等、学年に応じて取り組めるようにしています。そのような取組を通して、子どもたちの操作技能の向上は素晴らしいことですが、一方でいただいているご意見のように、不要にタブレットの設定を変更してみたり、学習で使っていない機能を使ったりしている様子も見られます。

学校では ICT 活用のルールやマナーについて、適宜指導していますが、まだまだ徹底できていないのが現状です。今後も、あくまで学習の有効なツールの一つとして適切な活用ができるように指導を改善していくとともに、家庭での使用のしかたについても整理して保護者の皆様にもお知らせし共有させていただくことで、学校と家庭で協力して取り組んでいくことができたかと考えております。

学校からの情報発信・ホームページについて

- ・放課後、予定下校時刻より大幅に遅いと不安になる。伝えてもらいたい。
- ・天候による休校連絡等をメールで頂けてありがたい。登校距離の都合で朝早めに家を出発する事も多く送り出してから連絡を知る事があった。ホームページ等ででも、もう少し早く休校等が知りたい。
- ・学級閉鎖の際に、在籍しているクラスだけでなく、もっと多くの(学校全体の)情報を流してほしい。

- ・学校とのエンゲージメントが薄らいでいると感じる。ライブ配信などオンラインで補える手法を検討してほしい。
- ・授業参観の開催が困難な状況なので、ホームページへの学校や学習の様子を掲載頻度や量を増やして欲しい。

暴風雨等による休校や、日常の放課後学習による下校時刻の変更等の保護者の方への急な連絡を確実に伝えることは、大変重要なことと認識しています。ホームページ、Eメール配信、電話連絡の方法、タイミングについては、学校でも再度見直し、保護者の方に安心して対応していただけるようにしていきます。保護者の方におかれましても、ホームページのチェック、Eメール登録、緊急連絡先の共有等、ご協力をいただきますようお願いいたします。

また、今年度、子どもたちの様子を見ていただく機会が限られた中、おたよりやホームページで学校の取組や子どもたちの様子をお伝えすることの重要性についても強く認識しています。「授業参観について」でもふれていますが、今後「ライブ配信」「動画配信」も含め、ホームページでの情報公開について、教育委員会の指針に沿いながら、発信する内容やタイミング、その方法等を検討し、保護者の皆様に学校の様子・子どもたちの様子をお伝えしていければと考えております。

学校運営協議会理事・推進委員の皆様より

学校の取組や児童の様子について、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の3つの観点から、すべて記述式でご回答いただきました。まとめさせていただくと、以下のようなご意見をいただきました。

確かな学力

- ・地域の人とつながって行う畑や田んぼ、文化の学習内容の深さには、いつも感心している。
- ・本を読む子が増えた気がするが、読み聞かせの効果もあると思う。
- ・地域合同会議（児童会）に出席し、児童会の皆さんの様々な工夫、取組に感心している。

豊かな心

- ・登校時に元気よく「おはようございます。」「行ってきます。」と挨拶ができていて、また、私たちに敬語を使い、とても気持ちよい。
- ・農園学習の翌日、「脱穀の時には大変お世話になりました。」「12月最後には「1年間ありがとうございました。」「1月には、「今年もよろしくお願いします。」と言われ、長い見守りの経験の中でも大変嬉しいことだった。
- ・まだまだ挨拶ができない子もいるが、がんばって声かけをしていきたい。
- ・先手必勝で（自分から）挨拶ができるようになると、気持ち良いとともに、防犯面でも効果があると思う。

健やかな体

- ・登下校で、危ない所を子どもたちが自分で認識し飛び出したりせずに止まって確認して渡る姿を見かける。
- ・見守る人がいても、自分の目で確かめる子が多い。
- ・下校時に、開放感からか、道路を左右に走っている（危険な）場面がある。
- ・交通ルールを守らずにふざけながら帰る子を見かける時があるが、その時は注意している。
- ・以前に比べて外遊びの集団を見る回数は少ないが、元気な声で遊んでいることを見て嬉しく思う。

その他

- ・ホームページや掲示板、学校だよりで学校の様子はよく伝わってくる。最近はホームページで児童からの発信もあり、児童のがんばりも伝わってきた。
- ・コロナ禍で様々なことが中止になる中、まなび教室や読み聞かせなど、よい方法を探り、続けていきたい。
- ・（地域の）よい自然環境を生かして、それらと触れ合う機会を作っているのがよいことだ。
- ・コロナ禍で生活する中、人への思いやりの心を忘れず、学校生活を楽しんでほしい。

様々なご意見をありがとうございました。来年度の学校の取組に生かしてまいります。保護者の皆様、地域の皆様と連携し、子どもたちの健やかな成長につながる学校教育活動にしていきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。